

第31回

# 府中市男女共同参画推進フォーラム記録誌

男でもいい  
女でもいい

「自分らしく」  
生きる

満員御礼!!



講師 神田鯉栄 さん

かんだりえい

お話と講談の会

基調講演

2017年 11月 11日(土)・12(日) 開催

府中市・第31回府中市男女共同参画推進フォーラム実行委員会

## 第31回 府中市男女共同参画推進フォーラム記録誌

### 目 次

府中市長あいさつ	高野 律雄	1
実行委員長あいさつ	向井 佐知子	
登録団体連絡会会長あいさつ	高梨 珠子	
基調講演「お話と講談の会」	神田 鯉栄	2
講演		
「親から子へ紡ぐ命と性の講座」	川島 智世	6
「平家物語の名場面」	加藤 淳子	8
「看護師・著述家 宮子あずさ講演会」	宮子 あずさ	10
『もじれる社会』を結び直す	本田 由紀	12
ワークショップ		
パソコン連絡会/NPO 法人けやきの会/食生活倶楽部/おはなし夢くらぶ		14
ウィメンズアクション府中/ポピーズ/住吉養気会/人形劇サークルのびのび		15
3B健康体操/渋/和文化研究会俱々楽/科学体験クラブ府中		16
B. R. E. M. S/朝ヨガ/一期一会/府中きまま塾		17
府中消防署		18
参加・協力団体		18
フォーラム参加人数とアンケート結果		19
会場風景		20
フォーラム開催の歴史		22
フォーラム実行委員から一言		24
フォーラム実行委員会等開催記録		24
男女共同参画都市宣言/奥付		



## 府中市長 高野 律雄



第31回府中市男女共同参画推進フォーラムに早朝よりたくさんの皆さんにご参加いただき、厚く御礼申し上げます。また、実行委員会の皆さん、そして女性センターで活動されている団体の皆様方をはじめ、多くの方のご理解とご協力を頂戴して第31回を迎えることができたことに、市を代表する者として感謝を申し上げます。

男女共同参画推進フォーラムは、社会における性差によるいろいろな課題を乗り越え、解決し、誰もが自分らしく生きるために回を重ねてきました。これから、女性講師・神田鯉栄さんに「男でもいい 女でもいい 『自分らしく』生きる」というテーマのもとにご講演をいただくということで私も非常に楽しみにしておりまして、お昼まで公務を入れないで、この時間をとってまいりましたので、一緒に楽しませていただきます。

国のほうでは女性活躍推進法なども制定され、男女共同参画の社会をつくることが非常に重視されています。府中市としても、全ての皆様方が自分らしく、そして支え合い、いつまでも暮らし続けたいまちであるようにこれからも努力を重ねてまいりたいと思います。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

今日と明日、たくさんの講演、ワークショップ、作品展示などを十分にお楽しみいただき、また府中の将来のためにご示唆をいただけますよう心からお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

## 実行委員長 向井 佐知子



本日はたくさんの方にお集まりいただき、ありがとうございます。そして登録団体の皆様、フォーラム開催に向けてご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

今年で31回目のフォーラムでは、毎年、男性も女性も働きやすく暮らしやすい社会にするための議論を推進してまいりました。そして、今年のテーマは「男でもいい 女でもいい 『自分らしく』生きる」です。固定的な男性像、女性像に縛られず、1人1人が自分らしく能力を発揮できる社会について考えようということで、基調講演には、女流講師である神田鯉栄さんをお招きしました。皆様気になっているのではないかと思います。いつもとは違うこの赤い舞台は、講演のための高座です。この後、こちらで鯉栄さんが楽しいお話、講演をしてくださるのですが、気づきもたくさんあると思いますので、どうぞご期待ください。

そして、今年は基調講演のほかにも4つの講演会、それから多彩なワークショップ、作品展示も予定されておりますので、どうぞ皆様、2日間お楽しみください。

## 登録団体連絡会会長 高梨 珠子



本日、第31回フォーラムを無事に迎えられたことをお喜び申し上げます。

実行委員の皆様にご多大なご尽力を賜り、お礼申し上げます。また、講演会、ワークショップには20の登録団体と2つの外部団体、作品展示は28団体、活動紹介パネルは8団体と、ことしも多くの団体の皆様とにぎやかに開催することができ、ご協力ありがとうございます。

今回のテーマ「男でもいい 女でもいい 『自分らしく』生きる」は、自己肯定感アップをミッションとする団体の者としてとても共感でき、深いテーマです。私にとって「自分らしく生きる」とは「イエス・アンド・ノー」ではなく「イエス・アンド・イエス」です。自分と周りを比べて焦ったり悩んだりせず、今のままで大丈夫。うまくいかないときや落ち込んだときでも無理しなくて大丈夫。自分勝手ではなく、今できることを精いっぱいやるのが「自分らしく生きる」ことではないかと、日々の活動やクラウンの活動を通して考えるようになりました。このフォーラムが、自分らしく生きるコツの発見や再確認、またそれをシェアできる場になることを願っております。

フォーラムはこれからも回を重ね、さらなる発展をしていくことと思いますが、登録団体としてこれからも協力してまいりたいと思います。

## 基調講演『お話と講談の会』



講師：神田 鯉栄 (かんだ りえい)

### 【講師プロフィール】

栃木県生まれ。  
旅行添乗員を経て、2003年に三代目神田松鯉に入門。  
2008年、二ツ目に昇進、2016年、真打に昇進。  
日本講談協会、(社)落語芸術協会に所属。

本日はお越しいただきましてありがとうございます。

我々は、とにかく一番後ろのお客様にも見ていただけるのが一番ありがたいのですね。特に今日は長丁場ですから、高座を高く作って頂きました。私も日本全国いろんな所で高座をさせて頂いておりますが、これほど高い所は…。いかにこの府中市の意識が高いか。今日は市長も来ていらっしゃるし。(笑)

これなら一番後ろの方も難く見えるでしょう。ただ、「上がるときに気をつけてください」と言われて練習したんですよ。さっきは鮮やかに頭ぶつけてしまいました。(笑)

今日は男女共同参画がテーマになっておりますから、そんなことを絡めながらネタに入っていこうということでございます。

### ■名前の由来

私が入門した師匠は男性で、神田松鯉と申します。私の鯉栄の「鯉」という字は師匠からもらった漢字でございます。これ、日本の三大祭りの神田祭ってありますよね、あれにかけているんです。松に鯉で「まつり」って読むでしょう。まつりって読むんじや粋じゃないから、ちょっと読み方を変えて「しょうり」と読む。昔の方は名前のつけ方にセンスがありました。

### ■講談師、講釈師の世界

講談師、講釈師は、日本全国で今50名もいないんです。着物を着て、赤い毛氈の上で座布団に座っていて、扇子と手ぬぐいも持っていますから、よく落語家と間違えられますが、落語家のほうは東西合わせて八百数十名いるんだそうです。ですから講談師は10分の1にも満たないんです。

東京と、大阪に旭堂という一派があるだけで、他

はいないでございます。50名切りまして、現在のところ47名。どっかで聞いたことがあるとお思いになりませんか。不思議なものですねぇ、講談界でこの道と言われました、赤穂義士伝でおなじみの忠臣蔵。この人数がちょうど四十七ですからね。各県に1人ずつしか配属できないということになる。してみると、これは県知事と同じ扱いか……ではないですね。(笑)

もともと講談は男性のものでございました。ところが、これが今随分と女性が増えてきてましてね。現在約半分が女流講談師ということになっている。若手は女性が多いんですね。

今、講釈界で一番の重鎮と申しますと、人間国宝の一龍齋貞水先生。お名前をご存じなくても、お顔を見れば思い出す方もいらっしゃるかもしれません。立派な方でございます。いわゆる60代、70代の先生方は男性がほとんどですが、30代、40代の若手と言われてるのはもう女性が9割です。世の中変わってきたのかもしれないですね。

男性の入門希望者も年に何人かは来ます。楽屋に入りますと、先輩からいろんなことを教わるんですね。何も知らないで楽屋に入ってね。怒られるんですよ。怖いんだ。すごい怖いんです。立っているだけで怒られる。つらいんでございますね。

それぞれの世界にいろんなしきたりがあるかもわかりませんが、我々の世界では、お世話になった先輩に対して金品でお礼をするということが許されないでございますね。そのかわり、我々がしてもらったことをそのまま後輩に返す。これが先輩へのお返しなんだということを教わりました。ですから私も、先輩から厳しく教えていただいたことを後輩に厳しく教えるんでございますがね。入ったばかりのころは、随分と先輩を恨みましたが、28歳で入門して、もう今年で17年目ですから。計算しな



いでください。(笑)

早いもので、だんだんと後輩が増えて参りました。今こうしてつらつらと思ひ起こしてみると、ああして怒っていただいたことがどれだけ身になっているかってことを身に染みて感じますね。ですから今は感謝しているけれども、怒られた瞬間は「んー！」なんて思ったりもしますがね。

後輩ができるんで、やっぱり厳しいことも言います。男の子は、「こらーっ」て怒るでしょう。そうすると次の日来なくなってしまいます。女の子は、「こらーっ」って怒っても次の日「おはようございまーす」って来ますね。(笑) 男らしい女性もいるし、女性らしい男性もいる。今いろんな人がいますからね。男と女で分ける必要ないのかもしれないけど、総じて男の子は割とやめちゃう人が多い。今、そんな状況でございます。



### ■日本三大話芸

講釈と落語と浪曲ってのが日本の三大話芸になっています。例えば、1つのものを語るのでも、落語は、斜から見て笑いで語る。浪曲は、物事を後ろから見て涙で語る。講釈は、物事を正面から見て怒りで語るってよく言われているんですね。ですから、あんまりナヨナヨしていると講釈にならないわけで、お腹から大きい声を出してやるわけでございます。迫力といったものを感じてもらえる芸でもあるんです。

よく「1時間も2時間もしゃべって声がかれないんですか。どうやって声をつくったり練習するんですか」って聞かれますが、師匠は細かいことは一切教えてくれない。自分の喉と相談しながら、何とかやってきたんです。師匠からは「でけえ声だせや。腹から声出せ」。これだけですから。(笑) 毎日毎日、一生懸命大きな声を出してやってまいりました。

講談の修行で一番最初に習うのが三方ヶ原の軍記というもので、これが講談の七五調のリズムを体に染みこませるため、そして声をつくるための必要な

メソッドで、ピアノでいう赤バイエルでございます。

ちょっとやってみましょうか。「頃は元龜三年、壬申年十月十四日、甲陽の武田大僧正信玄、七重のならしを整えて、その勢三万五千余人、甲州やつはながたむらへ…あまのくまえざえもんかげつらあしだしの…」意味がちつともわからない。(笑) 毎日これをやるんです。

声帯の構造って、黙っている時は声帯が開いて、しゃべっているときは声帯が閉じている。閉じているときにお腹から空気が出たときの摩擦音が、口や舌で言葉に変わって、皆さんの耳に届く。これが声のメカニズムです。この声帯を通る空気の色度時速120キロなんだそうです。毎日声帯をこするわけですから、だんだん声帯が摩耗してきて、ペンだこができるのと一緒で、腫れて、最初に声帯にもタコ、血まめができて、血痰が出るようになって、声が二重に割れます。ピッタリ閉まりませんから。モンゴルのホーミーってわかります？ あれも閉めないですね。声がだんだん出なくなって、何を飲んでもしみて痛い。これが大体4、5年続いて、治っちゃまたマメができて、治っちゃマメができる。これを繰り返すと、声帯の壁が職人さんの手みたいになくなって、何時間しゃべってもかれない声帯ができて上がるってことになるんです。

私も生まれついてこんなガラガラした声じゃなかった。昔はいい声だった…本当に、鈴がカラカラカラーと鳴るような(笑)…。今はカエルを踏み潰したような声になりました。(笑) 商売の声になったってことでございましょうか。

### ■講談

講談っていうのは「のれんをくぐるように始める」って言うんですね。いきなりやるとお客さんがビックリしちゃうから、最初はのれんをくぐるように入って、最後は「キレが良ければ全てよし」で、エビが後ろにタッタッと下がるように終わるのが格好いいとされているんで、もう始まっちゃったら止まりませんよ、私だって。(笑)

よく師匠に「高座で女を出したら、おまえ講釈師として終わりだぞ」と。そりゃそうですよね。例えば忠臣蔵だ、戦国の武士だと、命をかけて戦ってる人の話をお客様に臨場感を持って伝えるわけですから、やっぱりそこは気高く、男らしくやったほうが伝わる可能性は高いです。そこが難しい。私の1つの苦しみでもあり、テーマでもあるんです。

ずっと悩んでいたんですよ。自分の「個」の部分と、講師としての「公」の部分はどう折り合いつけていいのかわからなかったんです。

でもね、今ようやく吹っ切れたのは、やっぱり世の中っていろんな人がいて、同じ女だけどころか男もいるでしょう。男らしい女もいれば、女らしい女性もいるし、何だかわかんない女もいるし。男性もそうでございます。女性のようなきめ細やかな神経の方もいらっしゃれば、男らしくて本当に頼りたくなるような方もいらっしゃって。だから、性別は違って形が違って、脳のつくりもちょっと違うんだけど、でもやっぱり生きているのはこの世界で、それぞれが得意なこと、苦手なことがあって、それを補いながら何か1つのことを楽しくできるようにしていけばいいのかな。だから「男だから俺は」、「女だから私は」ってこだわらなくてもいいのかな、そんなふうに最近思っているのでございます。

ここからだんだん、どんどん男らしくなっていくかもしれませんが、あまりビックリしないように。取って食いやしませんから。(笑)

#### ■釈台と張り扇

前に机が出て参りまして。これは講釈の台ということで「釈台」と言っています。これが前に出ますと、東京では講談と思っただいてよろしいかと思えます。この釈台という机を、この「張り扇」という道具でポンポンと叩いて調子を取りながらお話を進めていく、これが講釈、講談でございます。

斬家の方は、よく扇子と手ぬぐいで仕草をなさいます。手紙とかお蕎麦とか、いろんな仕草をなさいます。我々はこの張り扇という道具を使う。お話の内容によっては刀になったり槍になったり、非常に便利な道具になっております。

#### ■師匠との出会い

私、以前は古典芸能とは全く縁のない仕事をしておりました。ツアーコンダクター。自分はこのツアーコンダクターという仕事で一生やっていたと思っていました。でもうまくいかない。どうしたものかなと悩んでいた。そうしたら、中国のことわざで「師を求めると、そこに師があらわれる」ってのがありますけれども、まさにそれでした。ある日、伝説のバスガイドがあらわれた。それで、その人に相談した。「うまく話ができない。どうしたらいいんでしょうか」。

そうしたら、「寄席で勉強してるのよ」と教えてもらいました。それまで寄席に行ったこともなければ落語も知らない。もちろん講談なんて聞いたことも見たことも、存在すら知らなかった。そのガイドさんに連れて行ってもらって、初めて寄席に行ったのが28歳の春でした。師匠の講談に出会って、「ああ、すごいな」と思っただ。

師匠の講談を初めて聞いたときに、何のセットがあるわけでもない、体一つで、言葉だけで人の頭の中に絵を描ける。すごいことだなと思っただ、感動しました。師匠の講談を初めて聞いたとき、30分の高座だったんですが、2時間の映画を見終わったのと同じような残像感が頭にあっただ。はあー、すごいな。一生かけてもこういう粋には達しないかもしれないけど、でも自分の人生をこういうものにかけてみたいと思っただ。そして、師匠のもとに入門を決めたのが28歳の秋ですから、早かったですね。

師匠に言われたのが、「今は女流講釈師ってのは多いけれども、俺は男でおまえは女だ。男のもとに入ったんだから、おまえは男らしい本来の講釈、男らしい勇ましい講釈をやる講釈師になれ。わかったか」「わかりました」。それから男に磨きがかかった。(笑)

ですから、私、毎年バレンタインデーのチョコレートがダンボール1個分来ます。あげるよりもらうほうが多くなってまいりました。やっぱり講釈ってのは勇ましい。

ただ、やっぱり男の世界で女性が生きていくというのはなかなか不都合もある。逆にいい面もあるかもしれないですね。何でも裏と表ってありますから。

楽屋というのは男性の世界でございまして、例えば、我々女性芸人のために着がえる部屋を用意してくれるわけでもない。みんな同じ楽屋の中で着がえますから。不自然に思うかもしれませんが、それが当たり前の世界でもあるわけでありまして。

#### ■鉄砲のお熊

今日お話し申し上げる「鉄砲のお熊」という講釈、これは古典じゃなくて新作です。

今日、講談が初めてだよという方いらっしゃいますか。——ありがとうございます。結構いらっしゃいますね。

「鉄砲のお熊」は全てがフィクションで、女相撲のお話なんです。相撲っていうと男のもんでございますけれども、その勝負の世界の中で生きていかなくちやいけないっていうのにも、やっぱり女性とし



ての苦しみもある、そんなところをテーマにした新作でございます。

お相撲の全盛時代は寛政年間と言われておりまして、数々の名力士、名横綱が全盛を極めたんだそうです。ちょうど同じ江戸の中ごろに、女相撲というのが大変に流行ったんだそうでございます。体の大きな力の強い女たちが、厳しい稽古で腕を磨いて、真剣にぶつかり合う。この姿が見る人たちの心を捉えたんでしょう。大変な人気だったんだそうで。

江戸時代を舞台に、顔に謎の傷を持つ女性「お熊」が自分の道を歩んでいく、ジェンダーを越えた物語です。

### 【講談披露】



### ■質疑応答

Q. 講談の席で、話しやすいお客様というのはあるんですか。男性が多いとか女性が多いとか、一緒のほうがいいのか。

A. いろんなところでやらせて頂いておりますけれども、男性ばかりのときもあるんですね。男性ばかりだと今日みたいな話はしませんけど、やっぱり男性って、総じて外で戦っているからでしょうか、あんまり歯を見せて笑ったり、声を上げてお笑いになることが少ないもんですから、何となく会場がどんよりした感じになって…。(笑) ですから、男性ばかりっていうと、ちょっと私も構えてしまうことが実はありまして。

女性ばかりでも困る。例えば、農協とか商工会議所の女性会さんとかでやらせてもらう。やっぱり明るいですよ。お召し物も色が明るいし、笑いが起きると、高い声だから明るくて非常にやりやすいんですけど、大体女の人は、40歳を越えるとかぼんに飴玉をひそませていて、一番端の人が袋を出して「飴ちゃんお食べ」「食べる」「食べる」「1個ずつ」、飴の袋がツー…。(笑) 私、講談やっているんですよ！(笑) でも、日本人ってすばらしい。や

ってもらったことにはそれ以上にして返したいと思うのですね。今度は反対側の端のかぼんからタッパーを出して「おしんこお食べ」「食べる」「回して回して」とおしんこの箱が…。やりにくい。(笑)

男女が混ざっていたほうがやりやすいですね。だから、今日くらいがちょうどいいと思います。

お客さんも、いろんなコンディションの方がいらっしやって、よくここまでたどり着いたなという疲労困憊の方もいらっしやるし、(笑) 本当に元気な方もいらっしやる。そういういろんな方にも楽しんでいただけるように、これからもずっと頑張らなければいけないですね。

Q. 神田という人は多いですね。何人ぐらいですか。

A. 今、講談界には神田のほかにも、一龍斎、宝井、田辺と、いろんな一派があるんですが、入門者が神田に多いんでしょうね。

覚えている方がいらっしやるかもしれませんが、かつて二代目神田山陽という人がいました。社交ダンスと将棋も得意で、新作もやって、古典もやって。時代を考えながら、新しい講談を模索していました。私の師匠の師匠に当たる人です。この人が女流講談師を一生懸命育てたんですね。女が男のまねをしても叶うわけがないんだから、女は女に合った講談をやるのが一番いいと考えたんです。

例えば「レ・ミゼラブル」とか、師匠はそういう新しい女性が主人公の読み物を女流講談師のために書いて、やらせた。そうすると、新しいことなので注目されるようになって、女流講談師がだんだん世に知られるようになる。そうすると、じゃあ私もやってみよう、私もやってみようということで、だんだん入門者がふえていく。そんな影響で、特に神田は女性の講師が多い。新しいことをやってメディアにも取り上げられる機会が多くなって、それで神田に行ってみようかなとなったのかもしれない。

Q. 神田という名前の由来は何ですか。

A. 由来はいろいろありますが、江戸の神田からとったんだと思います。ただ、地名からとったのか、その辺は資料が残ってないですね。





## 『親から子へ紡ぐ命と性の講座』

講師：川島 智世

企画：リフレッシュママ府中



自らの幼児期の性被害体験や親からの虐待の体験、そして助産師の知識から、性被害者の心情や取り巻く環境、周囲の支援の大切さ、親から子へどのように命の大切さを伝えるかという力強いメッセージをいただきました。

### ■なぜ育児支援を

私が育児支援をしているのは、完璧な育児ができるからではありません。親と暮らしていたころ、なぜ私はいつも母から叩かれたり暴言を吐かれていなければいけなかったのかという思いがいつも心にありました。そこから、子どもを育てることの意味や親子関係とは何かという探究が始まっています。

性教育に関わりたと思ったのは、性被害者・加害者をなくしたいという思いからでもあります。私は年中から年長にかけて性被害に遭いました。人気のない暗い密室に連れ込まれ、最初は抵抗しても、最後は暴力を避けるために無抵抗になってしまう自分がいた。幼かったこともあり、親にも言えませんでした。性暴力は、その時の恐怖心や思いを生涯引きずります。

虐待（いじめ）は弱者に向かってゆきます。社会が父を虐待し、父は母を虐待し、母は子どもに向かっていく。この虐待の連鎖が日常生活の中で繰り返された過去。その中で、社会とは、いじめとは、夫婦愛、親子愛とは、世の中とは、性とはということを探求し、学びつつ講演活動をしています。

### ■虐待は無知から

私は乳児期、祖父と父がお酒を口にすると、意味も分からず親のまねをしてガバガバとお酒を飲んだそうです。酔っぱらってフラフラしているわが子を面白がって見ていたという親からの話を聞かされたとき、そのとき、誰かが「乳幼児の肝臓によくない」と言ってくれればやめられたと思うのです。だって我が子はかわいいですから。

虐待（いじめ）は無知から来る行為でもあり、無意識の心の闇から感情を吐き出すように起こる行為だと思う私は、誰かが「それは虐待だ」と気づかせてあげなければいけないと思うのです。叩く行為も、それがいけないことだとわ

### 【講師プロフィール】

1961年大阪府生まれ 徳島育ち、3児の母親、助産師。  
妊娠・出産・産褥・育児の相談員。生後0か月から2歳児までの子育て講座・親子ふれあい教室や、プレママ・パパの講座や、命の大切さを伝える講演活動(命の学習・性教育)に力を注いでいる。

著書 『生後すぐからできる赤ちゃんのリズム体操』(学研プラス)

『産前・産後の「美ボディ」&「美乳」』BOOK(学研プラス)

TV テレビ東京「子育てパラダイス」

かっていないのです。

虐待を受けた痛みは死ぬまで続きます。その中で、女性として、母として、人としてどう生きていけばいいか。命の大切さや性に関してお子さんとどう向かい合えばいいか、皆さんと一緒に考える時間がもてたらと思います。

### 性教育の柱

#### 1) 性をどう伝えるのか(倫理・道徳教育)

人として、女性として、男性としてどう生きていくのか？  
命の尊厳

#### 2) 命の大切さをどう伝えるのか

(倫理・道徳教育)

自分を大切にすること、他人を大切にすること  
自分を守る、相手を傷つけない(性被害から自分を守る)  
プライベートゾーンの大切さをしっかり教える

#### 3) 家庭での保健教育(体のしくみを伝える)

(健康な体づくり・生殖器の病予防)

月経・精通・妊娠のしくみ  
清潔にすること(下着・スキンケア)など  
下着を身に着ける意味・管理やマナー  
入浴やトイレのマナー

### ■命の学習(性教育)とは

プレママ・パパ、乳幼児を持つ保護者、学校・養護施設・授産施設で命の学習(性教育)の講演活動をして15年が過ぎました。幼児をもつママやパパから、「性教育なんてうちの子どもには早すぎる！」と言われた時点で、性教育の理解の乏しさを知ります。命の学習(性教育)とは、女性として、男性として、人として自分の性をどう受け止め、大切に生きるかの教育なのです。それは保健教育から倫理・道徳教育にわたり、幅広く深いのです。

保健教育は、自分の性や年齢に応じた体の変化と向き合い、自分や相手の体を大切にすること。倫理・道徳教育は、自分と相手の心、生まれてくる生命を大切に。どう受け止めて行動してゆくかという生き方の教育なので、答えは1つではありません。「自分にとって命とは?」「人を愛するとは?」「自分を大切に生きていくとは?」に、自分で自分の答えを見つけ出せるように導く教育です。

100人いれば100の答えがあつて当たり前ですが、「自分と相手の心と体、そして生まれてくる命を大切に思いやるとはどういうことなのか」、その答えを見つけることが



できるよう導くこと、それが命の学習（性教育）なのだと思うのです。

### ■命の学習（性教育）は胎児から始まっている

「家庭での性教育はいつから始めるべきか？」という質問に「胎児のときから始まっています」と答えると、多くの人が「えっ!？」と驚きます。

胎児は外部の音を聞くことができます。父と母が仲良く歌を歌う声や、お腹のわが子を思いやる優しい言葉かけは胎児の心に届きます。たとえ聴覚に問題があっても、ママの穏やかな呼吸、鼓動のリズムを感じ取ることで心が安定し、健やかな成長へとつながってゆきます。一方、「この子はいらない」「流れてほしい」「死んでくれればいいのに」という気持ちや、夫婦の喧嘩や言い争いをママの心拍の流れで感じ取り、緊張や怒りや不安が胎児の心拍を緊張させ、体重が増えずに小さく産まれるケースは多いのです。

父（男性）・母（女性）としての生き方は、胎内のわが子に大きく影響を与えます。父・母がお互いに尊敬し愛し合っている姿、生きざまそのものが、命の学習（性教育）の道徳・倫理教育に結び付きます。

保健教育を含め、自分の体（プライベートパーツ）を大切にすることを子どもに教えていくことも家庭での命の学習（性教育）です。医学的な正しい知識や、性虐待、性犯罪とは何かを教えてくれる大人がたくさんいることで、性虐待も性犯罪も児童虐待（いじめ）も減ると信じています。

### 家庭での保健教育

- 1) プライベートゾーンの大切さ  
（おむつがはずれたらと同時に開始  
（性被害から守ることも教える）
- 2) 自分の性器のスキンケアや管理の方法  
（おむつがはずれたらと同時に開始  
・性器の拭き方・洗い方・トイレの使用のマナー  
・清潔な下着を身に着ける事の大切さ
- 3) 月経・妊娠・包茎・自慰（マスターベーション）  
（第2次性徴が始まるころ 小学校4年生～
- 4) 妊娠・中絶・性感染症・性器の病気・頸部子宮がん  
（中学3年生から高校1年生  
（妊娠・出産・育児についてネガティブな感情は伝えない）

### ■恥ずかしがらず、自然に

幼児期の性教育は、必ず「誰かが言っていた」ではなく、「私はこう思う」と、自分の考えや思いを伝え、子どもたちが自分自身で答えを見つけ出せるようにしてあげることが大切です。第二性徴が始まる10歳までにたくさんの親の考えを伝えてあげましょう。

幼いときから、どうやって人と対応していけばいいのか、どういうことをすると人は嫌がるのかという距離感を教えてあげることも大切な性教育です。心の教育だと思ってください。

目や耳のように、性器も自分の体の一部なのだから、幼いころからペニス、ヴァギナと、恥ずかしがらず自然に伝えましょう。恥ずかしいと思う感情は、話す人の言葉に乗って心に届いてしまいます。

おむつはずしの時期は下着の脱ぎ着を繰り返します。あるお母さんが「脱がして履かせるのが大変だから、下着を履かさなくていいですか？まだ2歳だし」と質問されました。履かせないこと＝プライベートパーツを大事にしないという教えになっていきます。自分の性器を守るための下着ですから、下着を履かせることには大切な意味があるのです。病原菌が入ったり傷を負わせてしまうこともあること、また性被害に遭わないためにも、自分の体を大切にすることを伝えましょう。

風呂に入るマナー、トイレのマナーも教えましょう。性器の拭き方・洗い方・トイレ使用時のマナー、清潔な下着を身に着けることは、病気をもらわないため、相手に病気をうつさないために大切だという保健教育に繋がってゆきます。

月経について。女の子は4年生ぐらいから初潮が始まる子もいます。かわいいナプキンとかわいいショーツを用意しておきましょう。お母さんが働いていけば特に不安ですから、その時のために本人と準備をしておきましょう。

男の子には、「月経中は頭も痛いし、体調も悪い」と言ってください。女性には月に1回そういう日があるからいたわらなければいけないのだという教育を幼いころからしていきます。ひとり親家庭でパパと娘しかいない場合は、保健の先生に協力をお願いします。

性行為は動物の本能ですから、教えなくてもできるようになります。教えなくてはいけない大切なことは、マナー教育です。プライベートパーツの大切さを幼いころに教えておくことが、自分の体や相手の体をいたわること、大切にすることに繋がってゆきます。

中1～3と高1は、性教育の講演をすると真剣に聞いてくれます。高2は若干聞かない。高3は「コンドームの話なら知ってる」と言って、「知っている」という思い込みから聞かないケースが多いです。中学から高1の間で予防教育をしっかりする必要があります。

### ■無知だから、無防備だから…

正しい知識がないから10代の妊娠、中絶、性感染症が減らないのです。「自分だけは大丈夫」という根拠のない思い込みが10代の妊娠、中絶、性感染症を招いていると私は思うのです。





## 『平家物語の名場面』



講師：加藤 淳子  
企画：をだまきの会

### 【講師プロフィール】

1947年生まれ。1969年東京女子大学卒業。  
以来、2001年まで都立高校に国語科教員として勤務。  
退職後、専門学校講師として「文章表現」を担当（2011～2014）。  
著書に歌集3冊。

### ■乳母（めのと）と乳母子（めのとご）

乳母とは、単なる授乳係ではありません。養育者、時には保護者です。奈良時代の橘三千代（たちばなのみちよ）から連綿と続く、「女性活躍」のすがたです。あの源頼朝にも、比企尼（ひきのあま）という忠実な乳母がいました。彼女は流人時代の頼朝に、20年以上にわたり生活の援助をしています。頼朝の運が開けたのは、そのおかげもあります。

木曾（源）義仲も、まさにこのケース。彼は2歳で父を喪い、乳母夫婦（院政期には乳母の夫も乳父（めのと）と呼びました）に守られて木曾で育ちました。平家物語の「木曾の最期」には、乳母子の今井兼平（いまいのかねひら）と巴（ともえ）が登場します。主従の関係ながら、子どもの時から共に育つのが乳母子。きょうだいのような親密さでしょうね。

巴は「色白く髪長く、容顔まことにすぐれたり……馬の上、徒歩立ち、打ち物持っては鬼にも神にも会はうどいふ一人当千のつはものなり……」とあります。平家物語の異本である「源平盛衰記」にも、額に天冠をあて、萌黄（もえぎ）おどしの腹巻をつけ、愛馬「春風」に乗った、巴の勇姿が描かれます。彼女は夫であり恋人である義仲を守って、敵をけちらしながら最後まで残ったのでした。

### ■「木曾の最期」を読む

源義経らの鎌倉軍に追いつめられた義仲は、「最後の戦で女を連れていたと言われては、俺の恥だ」と、巴を去らせませす。巴だけは生き延びさせたかったのでしょうか。巴は共に討死したいと言いますが、男と女であるが故に、それはかなわないのです。別れに際し「あっぱれ、よからう敵がな。最後の戦して見せ奉らん」と巴は言い、敵に突っ込んで大将の首を取ります。「その後、物の具脱ぎ棄て、東国の方へ落ちぞ行く」。ここに精いっぱい彼女の思いがあるでしょうね。悲しみを行動に転化してゆく巴の姿は、勃興期の武家の女の生き方を象徴しています。

とうとう主従二騎になった義仲は、兼平に言います。「日ごろは何とも覚えぬ鎧が今日は重うなつたるぞや」。乳母子だから言える、この本音。兼平は、義仲をいたわりつつも励まし、自害をすすめます。「武士は最後が大切。名もなき雑兵に討たれたりなされては、口惜しいではありませんか」と。共に死にたいと言い張った義仲もやがて諦め、独り自害するために松原をめざしますが、不運にも馬ごと深田にはまり込んでしまいます。絶体絶命





の中で兼平の方をふり仰いだ、その内甲(かぶと)を射られます。「朝日將軍」と呼ばれた義仲の、まるで獣が殺されるような最期。自分のために奮戦する兼平を案じてふり仰いだ、それが彼の最期の表情です。主君の死を知った兼平は、即座に自害します。兼平 33 歳、義仲 31 歳。乳兄弟のきずなの強さに心打たれます。

### ■巴の同時代人・静御前と北条政子

平家を壇の浦に滅ぼし、凱旋將軍だったはずの義経も、その数か月後には、義仲と同じく追われる身となります。鎌倉に捕われた義経の愛人、白拍子の静御前は、鶴岡八幡宮で舞い歌いました。

しずやしずしずのをだまき  
繰り返し  
昔を今になすよしもがな

吉野山峯の白雪  
ふみわけて  
入りにし人の跡ぞ恋しき

彼女はその後、義経との間に生んだばかりの男児を殺されています。神前で、権力者頼朝を前にして、この毅然たる大胆さはどうでしょう。

激怒する頼朝を、妻の北条政子がとりなした、そのセリフもなかなかいい。政子は静にことよせ、自分たちの出会いを語ります。「あなたが今日あるのも、私の愛の力でしょう。静が夫を慕うのも当然。それでこそ貞女です」と。頼朝は返す言葉なく、静を許したと「吾妻鑑」にあります。

1221年の承久の乱の時、政子が鎌倉の御家人たちを叱咤激励してまとめあげ、院方を撃退したのは、皆さんご存じのとおり。以後、六百数十年続く武家政権の基礎が、女性によって確立されたことは、特筆に値すると思います。

「女性」に視点を当てて歴史や文学を辿ってみますと、気づくことが多くあります。常識と思っていたことが、必ずしもそうではない。女性センターに結集される皆さんには、ぜひそのような学習を積み重ねて頂きたいと思います。

### ■平家物語の時代

「祇園精舎の鐘の声……」に始まる平家物語冒頭は、時代を生きた人々の実感だと思います。一応平和だった平安時代 400 年の後に、突如として起きた保元・平治の乱。以後の長い戦乱。加えて数々の天変地異。本当に恐ろしい時代だったと思います。死と隣り合わせた時、仏教の世界は近くなる。さまざまな人がさまざまにひしめき合ううちに、世の中が動いてゆく。その実感が、仏教的で漢語的な、あの冒頭に込められているのでしょうか。あれほど栄華を極めた平家は滅び、勝ったはずの源氏も將軍三代で滅び、その後北条政権が続くけれど、誰が一体勝ったのかと考えると、よくわからない。けれど世は移りゆく。その感慨がこもった冒頭だと私は理解しております。

私たちの「をだまきの会」は、ここ女性センターを会場に、2015 年秋から日本の古典を読んでおります。そのご縁で、今日は私がお話しさせていただきました。締めくくりとして、をだまきの会員の方々全員に、冒頭部分を朗読して頂きます。皆様もご唱和ください。

本日のご参加、まことにありがとうございます。



## 『看護師・著述家 宮子あずさ講演会』

講師：宮子 あずさ  
企画：市民活動研究会



### 【講師プロフィール】

1963年、東京都生まれ  
東京厚生年金看護専門学校卒。  
1978年から2009年まで東京厚生年金病院に勤務。  
2013年、東京女子医大大学院を修了し、看護学の博士号を取得。  
現在も精神科の訪問看護師として勤務しながら文筆、講演活動を行う。  
著書「看護師という生き方」  
「両親の送り方 死にゆく親とどうつきあうか」ほか多数。  
母は、女性の地位向上や反戦運動に精力的に取り組んだ、作家で評論家の吉武輝子さん(2012年没)。

司会：宮子さんの講演会は2回目となります。司会の藤田恵美です。よろしくお願いします。

### ■両親について

宮子：父は昭和2年、母が昭和6年の生まれです。父は、戦時中、軍事教練をサボタージュして反戦中学生の烙印を押されました。「自分みたいな人間は最前線に送られる。死にたくない」と、慶應の獣医畜産専門課程に進学、徴兵されずに終戦を迎えたのです。友人たちが亡くなる中、生き延びたことに負い目を感じていました。

軍国少女で、学徒出陣では最前列で日の丸を振っていた母は、「どれだけの人が戻ってこられたのだろう」と言ってよく泣いていました。

「戦争は一部の偉い人だけが悪かったのではなく、普通の市民が巻き込まれて加担していくのだ。こんな時代を選んで生まれてきたのではない」と両親から繰り返し聞きました。

人は、男・女・場所・時代・親を選んでいないことにおいて平等で、生まれ落ちた所から責任をもって生きていかなければならないと思います。

### ■看護師という仕事を選んだ理由

私は高校まで男女差別を感じたことはなかったです。1982(昭57)年に大学に入って初めて女子大生の就職難を知りました。男には就職先があるのに女にはない。世の中にだまされたと思ったし、だまされた自分の甘さも嫌だったですね。女性が手堅く稼げる仕事って思ったほどないというのが実感でした。

大学をやめて看護師になって、いつでも就職先があるという状況に自分を置けたのはとてもラッキーだったなとも思っています。そして何となく匂ったのです。看護師の仕事って嘘がないような。すごく辛いだろうし、男尊女卑に対してノーと言えない世界だと感じたのですが、それがあからさまになっていたほうがいいと思いました。

内科やホスピスで働いていた頃は、多くの死に向き合いました。床ずれを気にして体の向きを変えた瞬間に亡くなった患者さん、のどに詰まらせた痰を取り除くときに出血して亡くなられた患者さんがいました。そこに瑕疵がないとしても、その時々々の処置に関わった責任はあるとしても、それは仕方がないという割り切り方をするようになりました。「選ぶということからは逃げられない」と感じていました。

### ■脆弱性とレジリエンス

司会：今、日本ではうつ病になる方が多いのですが、これについてのご意見を伺いたいです。

宮子：精神科の病気は、①内因性・脳内物質の影響によって起こる。②外因性・脳炎などによる脳の変性で起こる。認知症などもそれが一因です。③反応性・ひどいストレスで適応障害が起こる。うつという病態は3つのどれにも出るのですよ。認知症は、最初はうつ的な状態、気力の低下で起きてくる。ただ、厳密な意味でのうつ病は①の内因性なのですね。脳内物質のある種の欠乏によって活力が上がらない状態が起こっている。うつ状態というのは環境的な要因があるのです。

今、多くの病気は遺伝子で決まっているとの情報が入



てきますが、因子をもっている人がみんな発症するわけではないのです。例えば、私が統合失調症の「脆弱性(病気への弱さ、脆さ)」をもっていたとしても、環境が落ちついていれば発症しない可能性も高いです。

もう1つ、「レジリエンス(もちこたえる力とか打たれ強さ)」をもつ子どもは、劣悪な環境でも良い方向に行く。脆弱性をもった人が劣悪な環境に行ったらダメになるかというと、そこにはレジリエンスがあるという考えです。看護師は、病気だけではなく、人間の残された健康的な部分をどう引き出すかが勝負なので、今、お話ししたような疾病観をもって患者さんとは関わるようにしています。

### ■男性の看護師について

司会：男性職場に女性が入って頑張っていることが多いですが、看護師については逆になりますね。

宮子：そうですね。今、日本では男性看護師は6%くらいしかいません。これでも倍増なのです。長らく3%だったのですよ。世界中を見ても看護は女性の仕事なのです。ただ、その中でイタリアだけが突出して男性看護師が多いらしいのです。

男性が増えていくのはいいことだと思います。ただ、女性患者が男性からのケアを嫌がるのがあったりします。介護の現場では、原則同性がいいのではないかと言われてきています。



### ■母 吉武輝子との関わり

母を送ってもう5年です。今、正直なところ解放感があります。母はフェミニストで、平和運動にもずっと関わっていました。世の中の理不尽なことに異議申し立てをしている母が誇らしかったし、母の価値観はもっともだと思っていました。

でも、大学でフェミニズムの活動をしていた頃、仲間たちと自分が違うことに気づいたのです。仲間たちはフェミ

ニズムを知ることで親離れしていくのですが、私は逆に、母に「デモに行け、集会に行け」と言われて厚生省前で抗議の座り込みをしていると、母が来てマイクでアジるわけです。「いいわね。あんなお母さんで」と言われました。私がフェミニストとして頑張れば頑張るほど、母親の手のひらに戻っていくのだと思いましたね。

看護の現場でフェミニストとしてどこまで生きられるだろうかと考えました。そこは母の手の及ばない所でしたから、そこで頑張ると決めたのです。

26歳の時、母に結婚を反対されました。フェミっばい反対の仕方、「なぜ結婚制度に入るのだ」と言って議論を吹っかけてくる。「嫁に出すまでは親のもの」というのが見え隠れしていました。母がそこまで私に執着するのが驚きでした。これは譲るわけにはいかないと結婚して、今に至っています。最近、デモなどの時には母の遺影を胸からぶら下げて行きます。これからも「吉武輝子の娘ワーク」としてやっていこうと思っています。こんなに志が一緒のだったら、母が元気な時にもっと一緒にできたらよかったです。でも、それを思った瞬間、やはり無理だったとも思うのです。

### ■私の願い

両親はがんを患い、父は転倒がきっかけの誤嚥性肺炎、母は慢性呼吸不全で亡くなりました。予想外の展開もあり、死因は選べないと実感しました。生きている時に自分らしく生きることが本当に大事だと思うのです。ですから、看護職であれば、少しでもその人の日常的な部分で付き合っていくことが何よりの力になると思うのです。特別な何かをしないと役に立たないというのではなくて。

今、孤独死、孤立死を恐れる人たちがたくさんいますが、家族がいても、息絶えるその瞬間に誰かが見ているかは誰にもわかりません。だから「あの人は誰もいない時に亡くなったね」とか言わないでほしい。私だったら、元気に話している時、いい時の自分を忘れないでほしいです。1人で死んでいった時に「最後はひどい状態で見つかった」みたいなことを言われるのは嫌です。

生きることを頑張っていく。そして、ケアをする立場になったら、生きることのお手伝いをする。死ぬことをあまり考え過ぎないことも大事じゃないかと思います。皆さん、ぜひ自分らしく生きるということを楽しんで頂きたいなと思います。私もそうしたいと思います。

司会：宮子さん、ありがとうございました。(拍手)



# 『もじれる社会を結び直す』

～女性と若者の貧困をなくす雇用対策・社会政策を～



講師：本田 由紀

企画：府中ネット

## 【講師プロフィール】

東京大学大学院教育学研究科教授

新卒一括採用に代表される社会慣行が、若者の公正・合理的な就職の機会を奪い、非正規雇用をはじめとした劣悪な雇用環境が働くものの技能習熟の妨げになっている現状を、あらゆる角度から研究・提言している。

著作は『多元化する「能力」と日本社会』（大佛次郎論壇賞奨励賞受賞）、『「ニート」っていうな!』（共著）、『もじれる社会～戦後日本型循環モデルを超えて』など多数。

こんにちは。本田です。専門は教育社会学です。「もじれる」という言葉はこじれる、もつれるなどの語感を凝縮して勝手に作った造語です。今の日本社会は「もじれる社会」という表現がぴったりです。

いま10代、20代の若い女性の貧困、困窮が露わになっています。家庭で親が子どもを支えられず、子どもの貧困が極限まで行くこともあります。ひとり暮らしの高齢の方が約600万人いて、その半分ほどが生活保護水準以下の年金収入で貯蓄もなく、破産状態に追い込まれています。経済的困窮でなくても家族間の関係が非常にこじれる場合もあります。

## ■強固な『戦後日本型循環モデル』

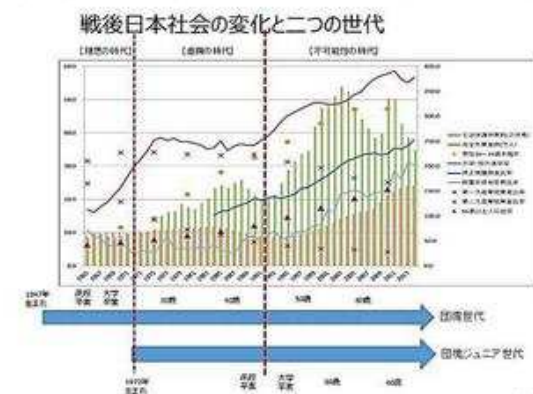
なぜこうなったのか。日本の社会の構造を歴史的に辿ります。1960年代は年平均の経済成長率が9.1%という高度経済成長の時期でした。オイルショック後の70年代から80年代には成長率は約4.2%という水準になります。

80年代バブル経済があり、それが崩壊して90年代以降、成長率は平均1%に過ぎません。それからずっと20年以上、経済の低迷が続いています。

非正規雇用比率は80年代からぐっと伸びています。貯蓄非保有世帯比率では、全然貯金がない方が増え、一方で非常に高額な資産者も増えて、2極化がはっきり進んでいます。

60年代の日本の高度経済成長期には私が『戦後日本型循環モデル』と名づけた社会構造が強固に成立しました。急速にサラリーマンが増え、高校・大学の進学率も急増し、母親は専業主婦化するという同時発生的で急激な社会構造の変化が原因です。家族と教育と仕事（労働）の間で資源が一方向的に流れ

込む循環構造です。この日本独特の強固な構造が、安定成長期に独特な広がりや深まりを遂げ、低成長期の今はそれが崩壊しつつあることが問題なのです。



問題のひとつは企業の新卒一括採用です。卒業するとすぐ、入社式に出て社員になる。受けてきた教育と仕事との内容的な対応は問われません。これに乗れば家族を作れ、父親が上昇する賃金を持ち帰り、母親が受け取って消費行動や子どもの教育にどんどん注ぎ込みました。政府はこの構造で生まれる賃金をあてにして、ほかのことにお金を使えました。

## ■『戦後日本型循環モデル』の破たん

しかしこの循環の矢印があまりにも太く丈夫になり過ぎて、それぞれの社会領域が形骸化、空洞化していく問題はあちこちで見られました。まずよい成績を取っていい大学に入るという価値観が教育を支配します。反面、落ちこぼれや不登校と言われる子どもが生まれ、校内暴力の蔓延が現れます。仕事でも男性は妻や子どもを食べさせるために社畜と言われても働き続けざるを得ませんでした。

しかし当時は現在と比べれば、まだより良い明日











## 実践！ 足裏リフレでワタシ発見・カラダ改革

ウィメンズアクション府中

「自分」って、何でしょう？ 一番知っているようで、一番知らない「自分」。講座では、リフレクソロジー講師のサポートのもと、足裏から「知らなかったワタシ」を見つけていきました。

ご自分の足と対面しながら、足に表れた体からのメッセージを読み取っていきます。意外な発見への驚きや、「やっぱり!」という納得の声があちこちで上がりました。忙しい毎日の中で、体のセルフケアは後回しになりがちです。簡単に行える足からの健康法を実践を通じて学び、にぎやかで楽しい講座となりました。毎日ケアを続けることで、ご参加の皆様がますます生き生きとした健康な毎日をお過ごしになることを、メンバー一同、祈っております。



足裏から健やかに

## 誰にでもできる 体づくりのための体操

ポピーズ

私たちポピーズは、平成9年に居安（やわ）先生をお迎えし、発足しました。今の会員は上は84歳、下は67歳と年齢の差はありますが、週一回、居安先生を含め18名で活動しています。これから年齢が上がっていきませんが、いつまでも元気で生活していけるよう、セラバンド、ボール、マット、タオル等を使い心身を鍛えています。今年は20周年を迎え、こうしてフォーラムに参加でき、当日は周りの人たちを巻き込んで元気に活動できましたこと、感謝しています。この10月には、会の20周年のお祝いとして皆で親睦を深めました。これからも元気で活動して頑張っていきたいと思っています。



楽しく体づくり、続けましょう

## 経絡体操気功

住吉養気会

当日はロビーでの参加でした。まず私たちが導引保健功を表演し、次に見学者の方たちも一緒に輪の中に入っただき、足送りハク打法、練功十八法と楽しくやりました。終わったときは体も温くなり十分に体幹を感じたことと思います。

私たちは瞑想から始まり、座功、臥功など数々の気功を取り入れたストレッチで気を練り前向きな気持ちで日々過ごせるよう皆で楽しく頑張っています。



皆様、どうぞ一緒に

## ゆるっとふわっと人形劇

人形劇サークルのびのび

今回、1部2部にわけて、手作り手遊び・歌遊び、「北風と太陽」「おたまじゃくし海へ行く」を上演いたしました。

メンバー手作りの布絵本を使い、季節の手遊び・歌遊びを参加者と一緒になって楽しみました。また、人形劇では、三匹の可愛らしいおたまじゃくしが夢を追いかけて、海に行くお話。夢を持つことの大切さが伝わり、大人も子どもも楽しんで頂けたらメンバーも幸せだなと思いつつ、上演しました。

日曜日の午前中ではありましたが、子どもの来場者が少なかったように感じ残念でした。また、来年は沢山の方々に人形劇を見ていただき、幸せな気持ちを届けられるように頑張っていきたいです。



おたまじゃくしが海へ行く!?

## 3B体操体験会 ～自分らしく生きる健康法～

### 3B健康体操

3B体操は、用具を使用して、音楽に合わせて楽しく身体を鍛える健康体操です。遊びの要素を取り入れ、子どもから成人・高齢者まで体力に応じた様々なプログラムがあります。ヒールの靴やスカートなど体操に適さない服装での参加や準備運動抜きでの実施は危険を伴うので今回は事前申込み制とし、室内で体験してもらいました。参加者からは音楽に合わせて動くのはとても楽しい、という感想を頂きました。

限られた時間でしたが、楽しく汗をかくという経験をされたことと思います。世界民謡、日本民謡、最近のポップスなど多彩な音楽にやさしいダンスが振り付けられていますので、次の無料体験の機会には、より多くの方のご参加を希望します。



みんな楽しく汗をかきました！

## 写真を飾ろう！ ラッピング

渋

写真たまっていますか？

効率よく整理して、リアルタイムで飾って楽しみましょう。お家にあるペーパーやシールを使ってちょっと手を加えるだけです。

スクラップブックという言葉を聞いたことがあるでしょうか？

渋では、この数年は写真の整理方法として、スクラップブックをお伝えしています。参加して下さった方は、「そうそう、写真をアルバムに整理したいのに、できないの」と言い、

やりたいけれど、なかなか手を付けられない作業について、とても興味津々で、一つ一つ納得してうなずいてくださいます。

写真を引き立たせるため、A4サイズの紙でフレームを作成しました。

ぜひ、飾ってください。



私のオリジナル、できました

## お茶席

### 和文化研究会倶々楽

今回は、気軽にお茶を楽しんでいただけるよう略点前（盆点前）でのお茶席を設けました。ご自宅で茶釜がなくてもポットなどで応用でき、日常生活の中でいつでもお茶を楽しむことができるお点前です。ご参加いただいた方からは、「茶釜や柄杓がなくてもお茶席ってできるのですね」とか、「お茶だけでなく和三盆のお干菓子がかわいらしく美味しかった」「男性のお点前を見ることができよかった」などの感想をいただきました。



ほっと一息できます

## 和紙を染めてノートを作ろう

### 科学体験クラブ府中

ふだんは子どもを対象に活動していますが、大人の方にも科学体験を楽しんでいただきたくて今回のフォーラムに初めて参加しました。参加者は大人23人、子ども7人でした。

B5サイズの和紙を三角形や四角形に折りたたみ、角や辺に絵の具を染み込ませ、そっと広げると幾何学模様が現れます。染めた和紙を表紙にして製本テープで綴じ、ノートに仕上げました。見本を見てでき上りをイメージして色付けしますが、思わぬ模様が現れて、それが不思議でわくわくと、楽しんでいただきました。



すてきな模様に染まりました



## 脳が喜ぶ、笑顔が生まれる！ シナプソロジー体験会

B. R. E. M. S

脳の活性化シナプソロジー体験会を昨年に引き続きロビーでさせていただきました。シナプソロジーは、五感の刺激を変えながら入力の時の刺激をどんどん変化させ、そこに対応する事で脳が活性化するプログラムです。参加者の方々からは自然と笑顔が広がり、どんどん元気になられ、「ぜひ〇〇サロンでも行って下さい」というお声をいただきました。この先も、シナプソロジーで、老若男女が笑顔でつながる地域貢献を続けていきたいと思っております。



笑って笑って脳を活性化！

## ヨガの実践で自分らしく生きるために

朝ヨガ

13人の参加者のほとんどがヨガの体験が初めての方でした。今の自分の体の状態を確認した後、「あー」と発声しながら、緊張と弛緩の簡単な動作を2回ほど繰り返すだけで、体温が上昇し、体調が変わります。今回は背骨を中心に、肩回りを整えました。皆で輪になり、足を前後左右に移動をすることで心拍数を上げる運動をし、呼吸法で心拍数を下げる事ができました。1時間半後には体験前の体とは違うことを皆さん確認できました。日常せわしく動いていますが、ゆっくりとしたペースで自分の体を大切にすることで心と体が整い、自分らしく生きることが出来ます。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございます。

今の状態を確認してみよう



## お茶席

一期一会

今回、初めて参加させて頂きました。開始前より多くの方にお並びいただき、老若男女、総勢46名のお客様にご来場いただきました。松茸の形をあしらった和菓子をお出しし、その間にお抹茶を点て、皆さまには秋をお楽しみ頂きました。

初めてお茶会に参加した方からも「楽しかった。」と言っていただき、

「一期一会」の素敵な空間が誕生しました。

これからも、一人でも多くの方に「茶道」の奥深さや魅力を伝えて参ります。

ご来場くださいました皆さま、また、このような機会を下さいましたことを感謝申し上げます。



お茶とお菓子で秋を感じました

## タオルで作るぬいぐるみとモップ

府中きまま塾

私たちの団体は「あったらいいなを好みの形にして、毎日便利に豊かに暮らしましょう」をコンセプトに活動しています。今回は「モップに付けられる手作り雑巾」と「おしぼりタオルで作るぬいぐるみ」または「針でチクチクうさぎの指人形」のどちらか1つを作ってみようという企画でした。

人気があったのは指人形。パーツを組み立てる物、一から作る物を用意しましたが、予想に反して一から作りたい方が多く、嬉しい限りです。作り手によって表情の異なるうさぎさんに作る喜びと、でき上がった時の達成感を味わっていただけたと思います。

小学校低学年から高齢の方まで、針を持つ初心者からベテランさんまで、みんなで楽しく活動ができました。



つくるのって、楽しい！

## 【府中消防署】

### 小さな子どもの救急対処法と家庭でできる火災予防

身近な地域で事故や火事を防ぐために、私たちは何ができるでしょうか。

「AEDがあるのは知ってるけど、使い方がわからない」、「孫が急にぐあいが悪くなったらどうしよう」、「高齢者がいるので冬はストーブの火事が心配」などと感じている方もいらっしゃるのではないかと思います。

フォーラム2日目に、府中消防署の職員の方に来ていただき、AEDの使い方、子どもの救急対処法、火災をなくすために気をつけたらよいことなどについて、人形を使った人工呼吸の体験や、DVDの映像を通して具体的に教えていただきました。



## 参加・協力団体

### 《講演会》

リフレッシュママ府中  
をだまきの会  
市民活動研究会  
府中ネット

### 《ワークショップ》

パソコン連絡会  
おはなし夢くらぶ  
NPO法人けやきの会  
ウィメンズアクション府中  
食生活倶楽部  
ポピーズ  
住吉養気会  
人形劇サークルのびのび  
朝ヨガ  
3B健康体操  
一期一会  
渋  
府中きまま塾  
和文化研究会倶々楽  
科学体験クラブ府中  
B. R. E. M. S  
府中消防署

### 《作品展示》

木目込人形の会  
住吉華洋会  
千野クラブ  
パソコンソリティア  
パソコン8-2  
パソコンひまわり  
パソコンもくれん  
府中孔友  
みやび会  
彩画会  
住吉書芳会

### なぎさ会

パソコンチューリップ  
パソコン花水木  
パソコン府中WPC会  
花版画の会  
府中ネット  
夢ボックス  
おさんぼ  
新日本婦人の会府中支部  
ソーイング・クラブ  
パソコンDJC  
パソコンどんぐり  
パソコンバラバラ  
パソコンふみづきの会  
府中きまま塾  
府中年金者組合女性部きすげ会  
洋裁クラブ

### 《活動紹介パネル》

愛拳会  
ウィメンズアクション府中  
けやき消費者の会  
渋  
市民活動研究会  
人形劇サークルのびのび  
粹和会  
府中年金者組合女性部きすげ会

### 《記録誌作成支援》

女性パソコン研究会

### 《ボランティア》

パソコンソリティア  
朝ヨガ  
府中市助産師会赤ちゃんと遊ぼう会  
渋  
女性パソコン研究会

### 粹和会

みやび会  
パソコン府中WPC会  
なぎさ会  
ポピーズ  
府中市女性防火の会分梅支部  
パソコンバラバラ  
あじさいグループ  
洋裁クラブ  
すみれ会  
住吉養気会  
養生気功同好会  
千野クラブ  
リフレッシュママ府中  
けやき消費者の会  
住吉華洋会  
パソコンふみづきの会  
府中きまま塾  
福もないと  
オアーゼ  
おたまじゃくし  
介護者の会雲雀  
こぶし水曜会  
3B健康体操  
J・J健康体操  
女性と市民のためのFP研究会  
自力整体四谷  
太極拳友の会  
パソコン七期会  
みんなのサロン  
ヨガ遊友

### 《協力会社》

大塚製薬(株)  
キュービー(株)  
東京ヤクルト販売(株)  
(株)ライフコーポレーション



# フォーラム参加人数とアンケート結果

参加者数 1082人（講座参加者 932人・展示見学者 150人）

## アンケート結果（回答者 143人）

### 意見・感想等

#### 基調講演「お話と講談の会」

- ・久しぶりに大笑いをしました。内容が今風でよかった。
- ・講談は初めて、迫力があり話芸に引き込まれた。
- ・大変おもしろかった。声の出し方が興味深い。女流講談師が多いとのこと、頼もしい。
- ・仕事にとっても役立ちました。会話には気配りと感性に、時に技術も必要なのですね。
- ・講談を間近で聞ける機会は少ないので大変勉強になりました。

#### 作品展示

- ・素晴らしい作品を楽しく拝見しました。作品を通して優しさや思いやりも感じました。
- ・手作りは個人的でなごみます。各団体が工夫をされていて、ステキな作品が多かったです。

#### 4つの講演会

- ・性教育は特別な事ではなく、幼い頃からの正しい生活習慣の延長にある。例えば、湯船に入る前に体を洗う。それは自分の身体の保護と同時に、他者への気遣いというように。
- ・古典で出会う女性たちのたくましさ、生き生きとした暮らしは、今だからこそ学びたい。
- ・歴史の不得手な私でも、わかりやすく楽しく参加できました。
- ・考えることの大切さ、感じているだけではダメという言葉。強く響いた。
- ・心が和み、落ち着きました。「生きる事を楽しむ」いい言葉です。
- ・「選ぶことのむずかしさ、どんな選択をしても悪いことはない」、考えさせられました。
- ・人生観が変わるいいお話でした。
- ・「死ぬ」ことの準備をするより「生きること」を楽しむという考えに感銘しました。
- ・大変よかった。現状のモヤモヤした問題がきれいに解決した内容でした。
- ・詳しいデータを使って本田先生の研究と知と、私たち市民の共感とつながりと、クール（冷静）とハート（情熱）とユーモアな内容に、感動！是非、また講演を。
- ・周りの方に伝えたいことばかりでした。こんなに充実した講演を地元で聴けて幸せ。
- ・今の社会の弱点、構造的要因が大変よく理解できました。先生の熱いパッションが伝わって、心にしみわたるお話でした。最後に対処の方向性を聞いて安心しました。

#### 自由にお書き下さい

- ・美味しいお菓子とお茶に時間を忘れました。
- ・娘と参加、お菓子が出来上がって食べる時間もあって良かったです。
- ・コンサートや、童謡や唱歌と一緒に歌う時間を希望します。
- ・映画鑑賞。ドキュメント、ノンフィクション。一般では上映されない作品の上映会。
- ・女性学と男性学のコラボレーションのお話。
- ・政策決定の場に女性議員が増えることと同様に、高齢者の登用を提案します。
- ・またすてきな講演を聴きたいです。
- ・若い女性（男性も）を元気づけるような企画や内容の情報発信。
- ・男よ、目をさませ！

## ----- 【府中市男女共同参画推進フォーラムとは】 -----

男女共同参画社会の実現のために昭和 61 年 3 月に制定された「府中市婦人行動計画」を基に、翌 62 年、市内の女性たちがフォーラムの開催を市に要望しました。

翌 63 年 2 月に、女性問題解決のための学習や討論の場として第 1 回女性フォーラムが開催されました。以来、地域の人々が集い、意見交換をし、行政と共に問題を認識し、解決に向けて歩み出す「きっかけの場」として毎年開催されています。

平成 11 年 11 月に府中市は「男女共同参画都市宣言」を行い、14 年の第 16 回より「女性フォーラム」を「府中市男女共同参画推進フォーラム」と改称して、新たな一歩を踏み出しました。

# 会场風景







11/12



協賛企業における男女共同参画への取り組みをパネルで紹介していただきました。



## フォーラム開催の歴史

(第1～15回の名称は「女性フォーラム」)

回	日時	会場	委員長	副委員長	テーマ
1	昭和 63/ 2/14	市民会館	佐野春江	荒木和子 佐藤法恵	私たちのあしたは… 新しいつながりを求めて
2	平成 1/ 1/29	府中グリーンプラザ	田代由美子	佐野春江 森 和子	女も男も自分らしく生きるために
3	2/ 2/4	府中グリーンプラザ	森 和子	右田房子 田代由美子	話しましょう、始めましょう
4	2/12/2	府中グリーンプラザ	荒巻ちず	赤羽美樹子 森 和子	話し合おう！21世紀に向かって —よりよく生きるために—
5	3/11/23～24	府中グリーンプラザ	関 和子	荒巻ちず 矢島千里	行動しよう参加から参画めざして
6	4/11/22	府中グリーンプラザ	矢島千里	関 和子 横山永望	まず気づこう 暮らしの中から —わたしたちは本当に自由になったか—
7	5/11/28	府中グリーンプラザ	和田安里子	岡本千賀子 中山節子	かわれ!府中の男たち うごけ府中の女たち
8	6/11/20	府中グリーンプラザ	金指光恵	三輪寛子 近藤キミ子	つくられた女から創る女へ いま、私たちの歩みは止められない
9	8/ 2/17	女性センター	浅田多津子	金指光恵 浅野明子	明日の自分を見つめよう!
10	9/2/22～23	女性センター	佐藤法恵	漆原みつほ 三輪寛子	出会うこと、学ぶことから始まる “ジェンダー・フリーって何?”
11	10/2/14～15	女性センター	漆原みつほ	佐藤法恵 須藤春子	ジェンダーからジェンダーフリーへ 女と男(わたしとあなた)同じステージで輝きたい!!
12	10/12/5～6	女性センター	岡崎妙子 白井紀子	佐藤法恵 鈴木恒代 矢島浩志	キテ・ミテ・ハナソー 女(ひと)と男(ひと)との素敵な関係
13	11/11/19 20～21 12/3/11	中央文化センター 女性センター 女性センター	小西厚子	池田房江 岡崎妙子 丸山陽子	男女共同参画宣言都市奨励事業 記念フォーラム 第13回府中市女性フォーラム
14	12/12/2～3	女性センター	鈴木恒代	西橋結花 和田安里子	ともにつくろう わたしたちのまち 「井戸端会議しませんか」
15	13/12/1～2	女性センター	小西さつき	加藤礼子 榊 初代 鈴木恒代	ともにつくろう わたしたちのまち



回	日時	会場	委員長	副委員長	テーマ
16	14/12/6~7	女性センター	佐藤法恵	鈴木恒代	とものつくろう わたしたちのまち
17	15/12/6~7	女性センター	田代由美子	納村万智栄 丸山陽子	見つけませんか とともに生きる未来を！
18	16/12/11~12 11	女性センター 府中グリーンプラザ	岡崎妙子	鈴木和代 矢島浩志	素敵に生きよう男と女 ～私の力活かせる社会へ～
19	17/11/28~12/4	女性センター	岩崎真弓	鈴木恒代 穂積菜絵子	おーい！！ 来たら何かが変わるよ
20	18/11/25~26	女性センター	穂積菜絵子	五座麻紀子 佐藤麻美	「私のジェンダー調理法」 ～男は仕事、女は家庭？～
21	19/12/1~2	女性センター	笠井直美	黒澤淳子 浜田広美	いまの世の中なんか変？！ ～Let's Do it now～
22	20/11/29~30	女性センター	井沢サト子	岡崎妙子 積 優子	チェンジ！ 輝くひとへ
23	21/11/28~29 29	女性センター 府中グリーンプラザ	前川浩子	秋山由美子 矢島千里	くらやみからみこしをあげよう！
24	22/11/6~7	女性センター	桜井洋子	石川伊知朗 漆原みつほ	ワーク・ライフ・バランス どう生きる？どう働く！私たち
25	23/11/26~27	女性センター	漆原みつほ	小野資子 鈴木和代	ポスト3/11 本当の「豊かさ」って？
26	24/12/1~2	女性センター	鈴木和代	漆原みつほ 藤井加津子	希望をもって だれとつながる みんなとつながる
27	25/11/30~12/1	女性センター	藤田恵美	榎本久美子 村山鑑恵	今ッ！つながれば つよくなる
28	26/11/21~23 11/22	女性センター 府中グリーンプラザ	藤田恵美	榎本久美子 村山鑑恵	伝えあおうよ 私たちの未来
29	27/11/20~22	女性センター	高梨珠子	藤田恵美 三浦真理子	学び、気づき、その先へ！
30	28/11/19~20	女性センター	藤田恵美	漆原みつほ 田鍋浩美	男女でつくる 活躍の場
31	29/11/11~12	女性センター	向井佐知子	田中ゆかり 藤井加津子	男でもいい 女でもいい 「自分らしく」生きる

## 実行委員から一言

### 漆原 みつほ

うれしい事に多数のアンケートが寄せられました。その事から感じたことは、参加のみなさまが、今、届けてほしい情報、必要としている事柄・内容に、企画（学び）が合致していたことです。よかったです。

### 鈴木 宣子

実行委員として2年続けて、関わらせて頂きました。講談師の神田鯉栄さんの基調講演に感動しました。また、各団体、グループの日頃の活動が交流できる機会に実行委員として準備に参加させて頂き、ありがとうございました。

### 高橋 敦子

フォーラムという大きな作品を、皆で考え皆で創りあげていく。大変ですが楽しい作業でした。関わったすべてのみなさま、そして事務局にも感謝いたします。フォーラムの今後の在り方も、さらに考えていきたいと感じた時間でもありました。



### 田中 ゆかり

昨年第30回の節目を迎えたフォーラム。今回は趣を変えた基調講演となりました。

企画からポスター、プログラムもすべて手作り。労苦をいとわず一緒に作り上げた仲間との出会いに、心から感謝しております。

### 向井 佐知子

今年の実行委員会は少数精鋭で臨みましたが、メンバーそれぞれが自分らしさを発揮して開催にこぎつけることができました。協力してくださった皆様、素晴らしい高座を準備してくださった事務局の皆様、ありがとうございました。

### 藤井 加津子

みんなでちょっとだけ頑張って、みんなでちょっとだけじゃない楽しさを味わうことができました。実行委員を初め、事務局、フォーラムにかかわった全ての皆様のおかげです。ありがとうございました。

## 実行委員会等開催記録

	日付	回数	協議・検討事項等
1	3月24日	第1回	自己紹介 委員長以下の役員 開催日決定 今年度のスケジュール フォーラム参加申込書、市民団体参加の可否
2	4月 8日	第2回	基調講演の講師 参加申込書
3	5月12日	第3回	キャッチコピー 予算案 ポスター等の作成方法 開会式 企業への協力依頼
4	6月10日	第4回	参加申込状況 調整会 キャッチコピー プログラム原稿依頼
5	6月25日	調整会	今年度フォーラムの概要説明 団体活動費についてのおしらせ 発表部門の部屋割り・展示部門の展示場所 作品展示方法
6	7月14日	第5回	調整会の報告 各団体申請内容、講師謝礼 予算 会場装飾
7	8月17日	第6回	作品展示 当日ボランティアの依頼 参加団体への通知の確認
8	9月 6日	第7回	会場装飾 市広報の掲載方法 記録誌 ポスター・プログラムの調整 当日の流れの確認
9	9月23日	臨時	事務局提案企画 空き部屋の使用方法 ハルーン装飾 展示団体への通知
10	10月 8日	第8回	当日ボランティアの確認 予算の修正 記録誌について協議 前日準備・当日の流れと役割分担
11	11月 6日～12日		登録団体作品展示
	11月11日～12日		府中市男女共同参画推進フォーラム
12	12月 1日	第9回	参加人数・アンケートの集計 反省と感想 予算の執行状況報告
13	3月末	第10回	記録誌完成報告 決算報告 来年度のフォーラムについて



## 男女共同参画都市宣言

わたしたちは、歴史にはぐくまれたふるさと府中を誇りとし、性別を超え、世代を超えて、互いに人として尊重し合い、共にいきいきと輝くまちをつくり続けるために「男女共同参画都市」を宣言します。

- 1 わたしたちは 男女が共に 社会のあらゆる分野に平等に参画するまちをつくります
- 1 わたしたちは 一人ひとりが自立し 認め合い 心豊かに暮らせるまちをつくります
- 1 わたしたちは 職場・地域・家庭において 男女が共に責任を分かち合うまちをつくります
- 1 わたしたちは 国際社会の一員として 平和を愛するまちをつくります

平成11年11月3日

府 中 市

### 第31回府中市男女共同参画推進フォーラム記録誌

編集&発行 府中市・第31回府中市男女共同参画推進フォーラム実行委員会

発行日 平成30年3月

連絡先 スクエア21・府中市女性センター

〒183-0034 府中市住吉町1-84 ステータ府中中河原4階

電話 042-351-4600 FAX 042-351-4603